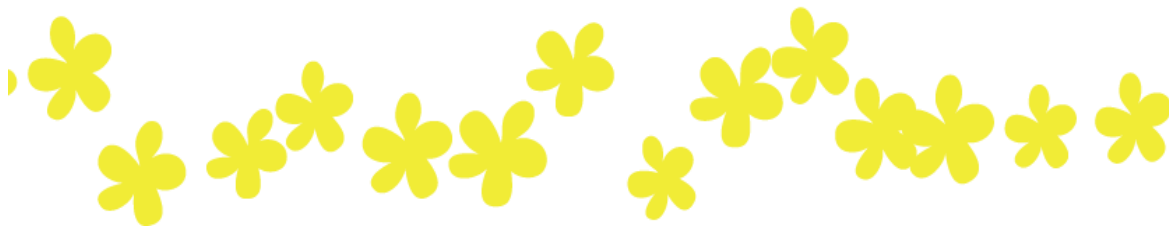


C型肝炎 インターフェロン治療

新薬(テラビック錠)における
入院スケジュール
について



入院当日

入院
スケジュール

今までのインターフェロン治療

注射
(1本目)

注射
(2本目)

注射
(3本目)

テラビックを用いたインターフェロン治療

8時・15時・22時に

看護師がテラビック配薬

自己にて内服管理を行う

☆レベトールは治療開始とともに
自己にて内服管理をしていただいています

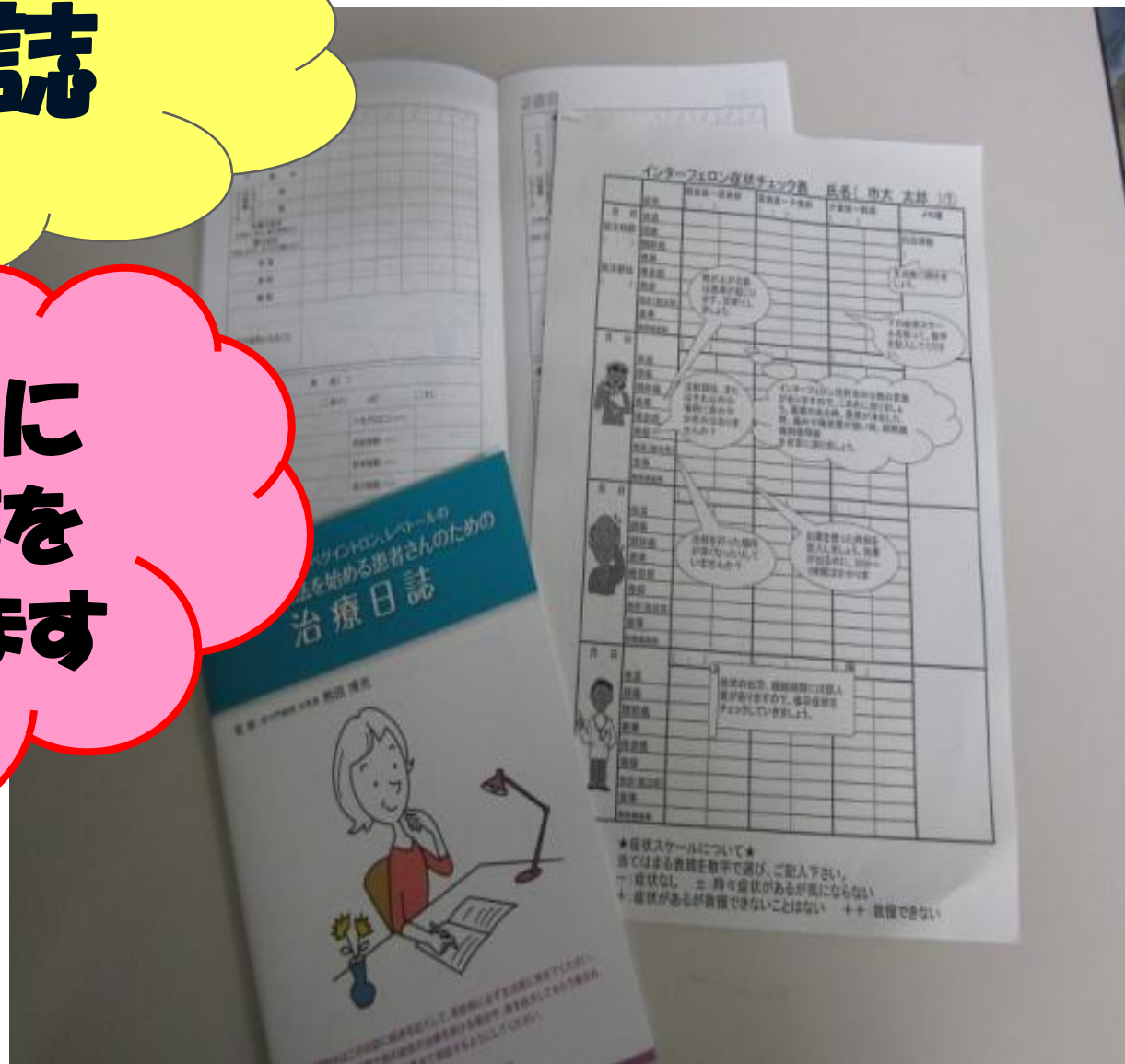
なぜ今までとの入院期間が違うのか??

- ①薬の投与量の調整が必要
- ②副作用がしやすい
- ③薬の併用禁忌薬が多い
- ④服用時間が決められている
- ⑤服用時には食事も必要



治療日誌

入院当日に
治療日誌を
お渡しします



テラビック内服開始から注意すること

①皮膚の観察

副作用の症状を浴室で、洗面所で、お化粧の時など鏡を見る場面がある時に自分の体をくまなく観察してください。特に**太もも**、**背中**に出る方が多いですが個人差がありますので**全身を観察**するようにしてください。痒みについても個人差があります。



☆看護師も毎日皮膚の観察をさせて頂きます。皮膚症状が出現した際には、症状出現部位も手帳に書きましょう。



テラビック内服開始から注意すること

②内服方法・時間

まず内服習慣をつけてもらう

ため1週目は看護師が配います。

内服時間は**8時・15時・22時**です。



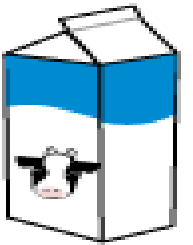
その後2週目からは患者さん自身での自己管理・・・ただし、毎日看護師のチェックはありますよ



デラビック内服開始から注意すること

③薬を飲む前は必ず食事をして下さい。

午後3時と午後10時がおやつの時間。



早期予防・早期発見のイイと・こ・ろ★

• 皮膚の変化

- 皮膚科などの専門医に診てもらえる。
- 悪化する前なので、治療になっても治りが早い。
なおかつ治療が続けられる。
- 併用禁忌薬の確認
- 尿酸値を測定し基準値を超える場合は、内服薬(ザイロロック)を内服し腎機能悪化を予防
- 貧血



入院中の患者さまからのメッセージ

<良かった事>

8時、15時、22時に薬を飲む習慣ができた
皮膚の観察を細目にするようになった

<不安な事・対策>

退院後の生活に応じて薬を飲み忘れないよう目につくところに薬を置く、ピルケースを使用する

<最後に一言>

先生の言う事を聞くのが大切





安心して治療が受けられるよう、私たち医療者が一丸となり、患者さんをサポートします。そのためにも、日々の症状観察は欠かせません。一緒に治療に臨みましょう。病棟でお待ちしています。

ご清聴ありがとうございました。

